

● 伶楽舎の紹介

伶楽舎は日本の伝統音楽「雅楽」の演奏と研究のために1985年に芝祐靖が創設した雅楽演奏団体です。創設以来、音楽監督を芝祐靖(1935-2019、平成29年度文化勲章受章)が務めました。現在約30名の演奏家たちが活動を行っています。伶楽舎は、昔から現在まで伝わる雅楽の古典曲以外にも、現代の作曲家が作曲した新しい雅楽作品や、長い年月の間に演奏法がわからなくなってしまった作品(廃絶曲)、また、正倉院に残されていた楽器を復元しての演奏など、古いものから新しいものまで、幅広く取り上げて演奏しています。日本を代表する作曲家・武満徹の雅楽作品「秋庭歌一具」の演奏では中島健蔵音楽賞特別賞を受賞、そのCDは文化庁芸術祭レコード部門優秀賞(平成14年度)を受賞。「秋庭歌一具」と「露台乱舞(芝祐靖 復曲・構成)」を演奏した「第13回雅楽演奏会」で2016年度佐治敬三賞受賞。他に、雅楽の古典曲や復元楽器の曲など多数CDに録音しています。また、伶楽舎の企画による自主演奏会では、新しい作品の初演や大曲の演奏などに積極的に取り組んでいるほか、解説を交えた親しみやすいコンサートや小・中高校生を対象としたワークショップ、レクチャーコンサートなども行っています。国内各地の他、アメリカやヨーロッパなどからも招かれて何度も演奏しており、日本の雅楽を世界に広める役割を果たしています。

【令和3年度 文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業— 出演者】

伊崎善之、石川 高、岩亀裕子、國本淑恵、北村茉莉子、五月女愛、笹本武志、野護元、鈴木絵理、田口和美、武智和子、田島和枝、田淵勝彦、谷内信一、角田真美、中村華子、中村仁美、野田美香、平井裕子、三浦礼美、宮丸直子、村岡健一郎、八木千咲

● 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」<邦楽公演> 雅楽 実施日程

実施日	実施校	プログラム
9月22日(水)	町田市立 金井小学校	A
10月19日(火)	江戸川区立 鹿骨東小学校	A
10月20日(水)	千葉市立 稲丘小学校	A
10月22日(金)	千葉市立 稲毛小学校	A
10月27日(水)	笛吹市立 石和東小学校	A
10月28日(木)	北杜市立 泉中学校	B
11月 1日(月)	三鷹市立第七小学校	A
11月 4日(木)	江戸川区立 一之江小学校	A
11月 5日(金)	学校法人 東星学園小学校	A
11月 8日(月)	東大和市立第三小学校	A
11月17日(水)	南房総市立 富浦中学校	B
11月18日(木)	九十九里町立 片貝小学校	A
11月19日(金)	館山市立 館山小学校	A

知ってますか? ~10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和3年度  
文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

雅楽「伶楽舎」  
〈邦楽公演〉



「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



令和3年度  
文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—  
雅楽「伶楽舎」  
＜邦楽公演＞

プログラム

第1部 雅楽ってなあに？

雅楽の楽器の音をきいてみよう

唱歌で「越天楽」をうたってみよう

演奏をきいてみよう — 「平調音取」「越天楽」、「陪臚」(プログラムBのみ)

舞楽をみよう — 「陵王」

雅楽で他の曲もきいてみよう — わらべうた (プログラムAのみ)

休憩 15分

第2部 日本昔ばなしと雅楽

ポン太と神鳴りさま [作曲・脚本=芝 祐靖] (プログラムA)

踊れ! つくも神 ~ 童子丸てんでこ舞いの巻 ~ [作曲・脚本=伊左治 直] (プログラムB)

みなさんは「雅楽」をきいたことがありますか？

神社のお祭や結婚式のときにきいたことがある、という人もいるかもしれませんね。

「雅楽」は、千年以上もの長い間、ずっと日本に伝えられてきた音楽です。

もともとは5~9世紀ごろに中国や朝鮮半島から日本に伝えられた外国の音楽だったのですが、

しだいに日本に合うようにととのえられ、日本人が作った曲も加えられました。

平安時代の貴族たちは、雅楽を合奏するのが楽しみのひとつでした。

今でも 宮中 や神社、お寺の儀式に必要な音楽として大切に演奏されています。

みなさんの聞きなれた音楽とはずいぶん違うでしょうが、

ぜひ、ひとつひとつの楽器の個性的な響きと、

ゆったりとした時間の流れを感じながら、聞いてみてください。

第二部では、昔ばなしと雅楽をあわせた曲を演奏します。

雅楽に親しんでもらえるように、特別に作った楽しい曲で、

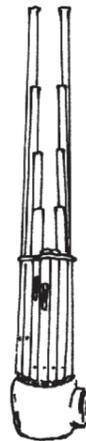
面白いお話と、生き生きとした雅楽の表現を、

どうぞたっぷりお楽しみ下さい。



雅楽の楽器

1) 笙



2) 篳篥



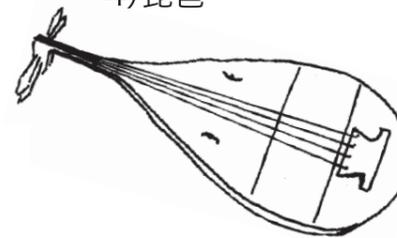
3) 龍笛



5) 箏



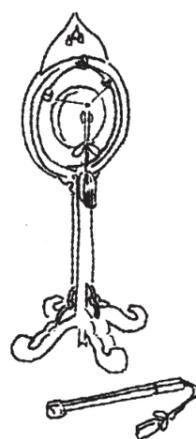
4) 琵琶



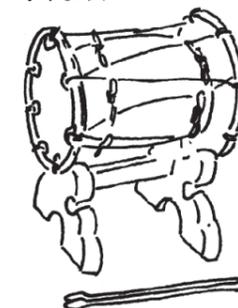
7) 太鼓



8) 鉦鼓



6) 鞆鼓



雅楽の楽譜

越天楽

小曲

早四拍子  
末二拍子如  
拍子八  
後度三